



月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガッさん」

NETWORK

にしかわ

2025

令和7年

2月号

No.827

町立病院は、適切な医療提供に24時間対応しています。

具合の悪い時はいつでもご相談ください。

☎ 0237-74-2211

- 主な内容 -

- P 2 | 特集 サウナでととのう町 西川
- P 4 | 台湾から多くの方が来町
冬の西川を満喫

特集

サウナでととのう町、西川

西川町は令和5年10月にかせぐ課準備室サウナ推進係を発足しました。令和6年4月に、正式にかせぐ課が配置され、その係の一つとしてサウナ推進係があります。サウナ推進係では、「ととのうなら西川」のキャッチコピーのもと、官民連携による一体化した広報・事業による町内事業者のかせぐ仕組み作りの推進を行っています。具体的な取り組みとしては、サウナ事業者と町によるサウナの横連携チームを発足し、その活動は、各サウナ事業者との情報共有及び一元化した情報発信、協同イベントの開催、ファンの囲い込み、ファン参加型の対話会と多岐にわたります。

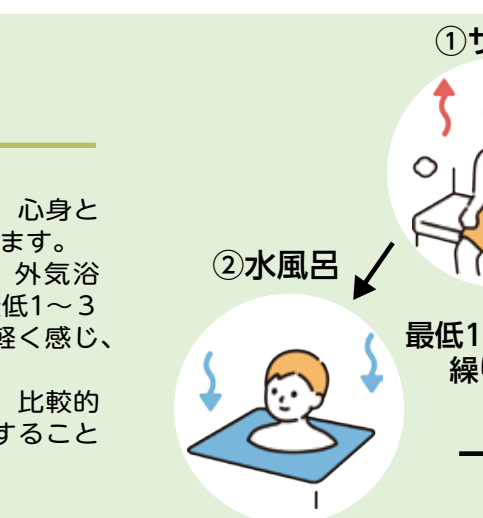
また、町としても令和5年4月に、フィンランド式の本格サウナが楽しめる施設として水沢温泉館のリニューアルや町産材の西山杉を活用した移動式トレーラーサウナの製作を行いました。水沢温泉館では、リニューアル後多くのメディアから取材いただき、結果的に全国のサウナファンが選ぶ「行ってみたいサウナ」山形4位のサウナ施設へと変貌を遂げました。また、移動式トレーラーサウナは「いつでもどこで

もサウナ」のキャッチコピーのごとく、従来の店舗型サウナとは異なり、町内外に向けて広く西川サウナを広める広告塔としての役割を担っています。最終的にはオークション形式にて販売され、その売り上げは、かせぐ課の命題である高齢者福祉施策のため、かせぐ基金へと充当されました。

1 移動式トレーラーサウナがダムサウナ実証実験をスタート

昨年度、町が製作した移動式トレーラーサウナをオークションにて落札した一般社団法人月山朝日観光協会は、今年度、これまでのテントサウナ事業に加え、自力向上及び「いつでもどこでもサウナ」を実現すべく、今年9月に全国的にも珍しい月山湖でのダムサウナの営業を開始しました。こちらの営業は、11月中旬まで完全

予約制で行われ、西川サウナファンを始めとする多くのサウナファンの方にご利用いただきました。他では味わえないダムダイブや、大自然を眺めながらの外気浴といった他サウナ施設との差別化やサウナ×ウェルビーイングという新たな可能性を見出しています。



「ととのう」とは？

サウナでよく聞く「ととのう」とは、心身ともにとても調子の良い状態のことをいいます。「ととのう」には、サウナ、水風呂、外気浴（休憩）の温冷交代浴の3ステップを最低1~3セット繰り返すことで、体がふわっと軽く感じ、頭がスッキリとした感覚になります。効果の感じ方に個人差はありますが、比較的誰でも簡単に「ととのう」状態を体感することができます。

2 「ととのう」にっぽんサウナ大賞で特別賞を受賞！

去る12月26日、日本サウナメディア協会が2024年にもっとも注目、話題を集めたサウナを表彰する「ととのう」にっぽんサウナ大賞2024にて、西川町のサウナが特別賞を受賞しました。

今回の受賞には、昨年度より当町で推し進める「ととのうなら西川」のブランドディングおよび官民連携による一体的な広報や事業連携の賜物です。

今後とも町の新たな観光資源のひとつとして、広く町内外の方から愛されるサウナへあゆみを進めてまいります。

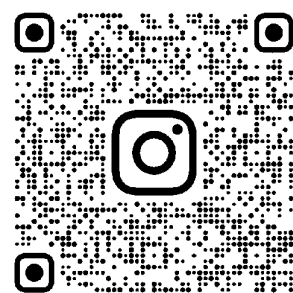


3 総再生回数1万2千回を突破東北芸工大の学生が西川町サウナでショートフィルム作成

遡ること昨年の11月、東北芸工大の学生で、西川サウナコミュニティにも参加している森谷綜太さん（東北芸術工科大学映像学科3年）から、西川町のサウナを題材としたショートフィルムの作成依頼をいただいたことから始まった今回の企画。

撮影当日は、あいにくの雪模様でしたが、学生の皆さんは寒さに負けず、町内の自然や水沢温泉館などの施設を訪問し、当町の魅力発信のため町内を駆け巡りました。

そして遂に、今年1月10日、学生の皆さんが作成したショートフィルムが完成し、インスタグラム内「アチーな西川 (achinawake)」にて3本の動画が公開されました。公開と同時に、みるみる再生数は伸び、2月5日現在、3本の動画の総再生回数は1万2千回を突破しました。



▲動画はこちらから

西川ならではのサウナで「ととのう」を体験

2月1日から始まっている「雪旅籠の灯り」との特別コラボ企画として、テントサウナを開催しています。西川の冬ならではの刺激と癒しをぜひ体験してみてください。



▲詳しくはこちら

Interview



東北芸術工科大学映像学科 3年 森谷綜太さん

西川町のサウナの魅力発信のために

自分がもともとサウナが好きで、西川町やサウナのことも知っていたので、動画の題材にしようと思いました。これまででは、自分の好きなものを題材にすると、主観的なものが多くなってしまおうと思い、好きなもので作品を作ったことはありませんでした。今回は自分1人ではなく、グループでの制作だったので作ってみようと思いました。グループで作ったことで、自分では考えなかった視点が多く出てきて、さまざまなことを取り入れながら撮影ができたと思います。また、西川町に対するイメージも新鮮なものになりました。

撮影する上で当たり前ですが、伝える情報に間違いがないようにしっかりとリサーチを行いました。僕が西川のサウナに持ったイメージは「大自然を感じられること」。景色の美しさを大切にして、BGM は使用せずに深々と雪がふる様子など、そのままの「西川町」の空気感を感じていただければと思います。





写真 1～4：スキー体験／5～6：雪上バレーボール大会／7～8：雪遊び体験／9：茶道／10：和菓子作り体験／11～12：西川小学校との交流（新林小）



台湾から多くの方が来町 冬の西川町を満喫



1月16日～19日に台湾新林小学校、1月28日～2月3日に台中FIRST STADY、2月1日～4日に台湾南湖小学校、2月4日～9日に台湾師範大学が西川町へ体験旅行に訪れました。

これはNPO法人ランドナビにしかわが企画・アテンドしており、スキー実習を中心に、日本文化や雪遊びなどのプログラムを提供しています。また、弓張平の月山スノーランドでの雪遊びや月山志津温泉「雪旅籠の灯り」を楽しみました。台湾師範大学の皆さんは、2月8日に開催された「雪上バレーボール大会」に参加し、慣れない雪の上で白熱した戦いをみせていました。

町民が先生となつての日本文化体験も行われ、和菓子作り体験や月山和紙でのキャンドルづくり、茶道などの体験を通じて日本文化に触れるとともに、町民の皆さんとの交流も深めていきました。

まちづくりNews

未来につなぐ農業振興を提言 農業委員会が建議書を提出

12月24日に西川町農業委員会会長の阿部栄蔵さん（吉川）と会長職務代理者の佐藤達郎さん（大井沢）から、菅野町長に町の農業振興を図るための意見をまとめた「西川町農業施策に関する建議書」が手渡されました。

建議書では、西川町の持続可能な農業を未来につなぐための「農業担い手への支援対策」「農地の有効活用と対策」「農産物の生産向上対策」「有害鳥獣対策」の4つの提言が行われました。



▲菅野町長に手渡されました

町特産「啓翁桜」 山形県知事にお届け

12月25日、山形県知事へ「大江西川両町道路整備期成同盟会」の県道に関する知事要望活動を行いました。

県道整備の要望活動終了後、啓翁桜関係者の皆さんが丹精込めて育成された「啓翁桜」を町長が知事に届けさせていただきました。
新春を告げる花「啓翁桜」喜んでいただきました。



▲吉村知事に春を届けました

西川の自然と人のあたたかさを感じる 西川まるごと移住体験ツアー開催！

町民アンケートによると、10年後にも残したい「西川町の宝物」は、1位「自然の豊かさ」、2位「食（山菜・水）」、3位「町民の人柄」です。この3つを体感し、町への理解やつながりを深めて、将来的に移住を検討いただくことを目的とした「西川まるごと移住体験ツアー」を1月18日から19日に実施しました。同ツアーでは、豪雪地である西川町の自然環境に触れる体験と先輩移住者や町民の方と触れ合う機会を盛り込んでおり、夏と秋に続き今年度3回目の開催です。



▲雪下人参を掘る参加者



▲地元のお母さん方が作る山菜料理を味わう

町の課題「雪」を強みに！ 第2回雪室検討ワークショップ

1月31日、トラスで第2回目の「雪室検討ワークショップ」が開催されました。当日は農家や食品製造の事業者など20人が参加し、雪室の第一人者である(株)SnowBizの代表取締役伊藤親臣さんを講師に迎え、雪室品の特徴や成功事例などを講演いただいた後、事業者とサポーターの立場からアイデアを出し合いました。

今回出たアイデアのいくつかは、体験型のカストロノミーツアーやふるさと納税などで実証していく予定です。

本ワークショップは国の「地域循環共生圏づくり支援体制構築事業」を活用して、ツキノワ合同会社（代表：伊東優さん）



▲ワークショップの様子

青山潤一さんが 町に寄附

「町の発展と振興のために役立ててほしい」と、12月20日、青山潤一さん（寒河江市）から町に100万円のご寄附をいただきました。ありがとうございます。



▲菅野町長に寄附金を手渡す青山さん

年度初めの建設業者の仕事確保を目指して 「債務負担行為」として早期発注を実施

西川町は「隠れ積雪日本」の町であり、町民向けアンケートによると、冬の除雪対応は、「重要であり、概ね満足している」と回答をいただいています。このため、現在の除雪体制や除雪スキルを維持していく必要があります。

人口減少・少子高齢化により、町の建設会社における除雪作業員の確保は難しく、今後、処遇改善を図って、人材を確保し、新たな担い手に除雪スキルを継承できなければ、現状、町民の皆さまに満足いただいている除雪運営体制を維持できなくなります。現在の除雪体制や除雪スキルを維持していくためにも、暖冬時における補償や前倒し発注による作業員のモチベーションの維持、労働基準法改正における働き方改革の実施に伴う工事の平準化（繁忙差の縮小）が課題となっています。

昨年の2月28日に、町は建設クラブと「覚書の締結」を行い、予算面での暖冬対策と工期の柔軟化を実施しています。今年度も引き続き、令和6年12月議会において「債務負担行為」を設定し、左記の建設工事の早期発注を実施していきます。

事業名	場所	工期
① 町道桂林線側溝整備事業	岩根沢	R7.2月下旬～7月末
② 町道綱取沼の平側溝整備事業	綱取	R7.2月下旬～7月末
③ 町道維持補修事業	町内一円	R7.3月中旬～7月末
④ 海味大堰整備事業	海味	R7.2月中旬～5月末
⑤ 林道沼の平小倉線側溝整備事業	岩根沢	R7.2月下旬～7月末

人事行政の運営等の状況について

西川町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、令和5年度における本町の人事行政の運営等の状況について公表します。

【お問い合わせ】 総務課総務係 ☎0237-74-2119

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員数 (各年度4月1日現在、単位:人)

令和5年度	令和6年度	対前年度増減数
145	145	0

(2) 採用・退職者数 (単位:人)

		令和4年度		令和5年度	
採用	退職	3	7	6	6

2. 職員の勤務時間・勤務条件の状況

(1) 勤務時間(一般的な職場の場合)

午前8時30分～午後5時15分(7時間45分)
休憩:正午～午後1時(1時間)

(2) 各種休暇の概要

▼年次有給休暇/年 20 日 (令和 5 年中取得 1 人平均 11.6 日)
▼病 気 休 暇 / 負傷または疾病のための休暇
▼特 別 休 暇 / 結婚、出産等のための休暇

3. 職員の分限・懲戒処分状況

(1) 分限処分者数 (括弧書き、単位:人)

分限処分とは、心身の故障等の理由で公務能率の確保の観点から、本人の意に反して行われる処分です。
降給(0)、降任(0)、休職(2)、免職(0)

(2) 懲戒処分者数 (括弧書き、単位:人)

懲戒処分とは、一定の義務違反に対し、道義的責任を問うことで、公務の規律と秩序を維持する目的で行われる処分です。
懲戒(0)、減給(0)、停職(0)、免職(0)

4. 職員サービスの状況

(1) 職務専念義務の免除

職員は、勤務時間中職務に専念する義務がありますが、次のような場合は免除されます。
▼研修・厚生事業等を受ける場合

(2) 営利企業等への従事許可

職員は、任命権者の許可を受けなければ、営利企業の役員等への就任や自ら営利企業を営むこと、報酬を得て事業や事務に従事することができません。

(3) 休業等制度

▼育児休業等制度※括弧書きは令和5年度の取得者数
育児休業(6)・部分休業(0)・育児短時間勤務(0)
▼自己啓発等休業制度
大学等課程の履修または国際貢献活動を行う場合(0)

5. 職員の研修の状況

区分	内 容			
基本研修	概 要	それぞれの階層ごとに職務遂行上必要な知識、技能、能力の向上を図る。		
	研修名	新規採用、上級、係長 等		
	研修数	7	受講者数	25人
特別研修	概 要	政策の構築などに必要な政策形成能力、職務上の高度な専門的知識、技術の向上を図る。		
	研修名	100DIVE、視察研修 等		
	研修数	17	受講者数	142人

6. 職員の福祉および利益の保護の状況

(1) 職員の福利厚生事業の概要

▼保健事業
共済総合健診、婦人科健診、ドック・検診助成、メンタルヘルスケア など
▼給付事業
傷病、死亡、結婚・出産、災害などに対する給付
▼貸付事業
普通貸付、特別貸付、住宅貸付

(3) 職員の勤務条件に関する措置の要求

職員は、給与・勤務時間・その他の勤務条件に関して、山形県公平委員会に対し適当な措置がとられるよう要求することができます。また、懲戒処分その他意に反する不利益な処分を受けた場合は、同委員会に対して不服申し立てをすることができます。令和5年度はいずれの事案もありませんでした。

(2) 公務災害の状況

	認定件数		
	負傷	疾病	計
公務災害	2	0	2
通勤災害	0	0	0
計	2	0	2

7. 職員採用について

令和7年度も、来年度採用の職員採用試験の実施を予定しており、6月ごろに行政職若干名の募集を行う予定ですので、多くの方のご応募をお待ちしております。
なお、町では今後、多様な能力を持った職員が必要となっていくことから、社会人経験のある方の採用も増やしていく予定です。

町と連携協定を結んでいる総合旅行会社東武トップツアーズ株式会社(本社:東京、百木田康二社長)の内定者研修が、1月30日～2月2日に行われました。同社に今春入社を予定している大学生ら約30人が町民と触れ合いながら、除雪やイベントの準備を手伝いました。

これは、地元住民らと心を通わせる大切さを学び、地域課題解決や関係人口拡大にもつなげようと、3年連続で開催されています。

研修では、参加者が2班に分かれ、月山志津温泉「雪旅籠の灯り」で使う雪像の制作や大井沢や海味の除雪ボランティアに従事しながら、町民との交流を図りました。

参加した内定者は「町民の皆さんがあたたく迎えてくれて嬉しかった」と話しました。



▲除雪作業に励む内定者の皆さん



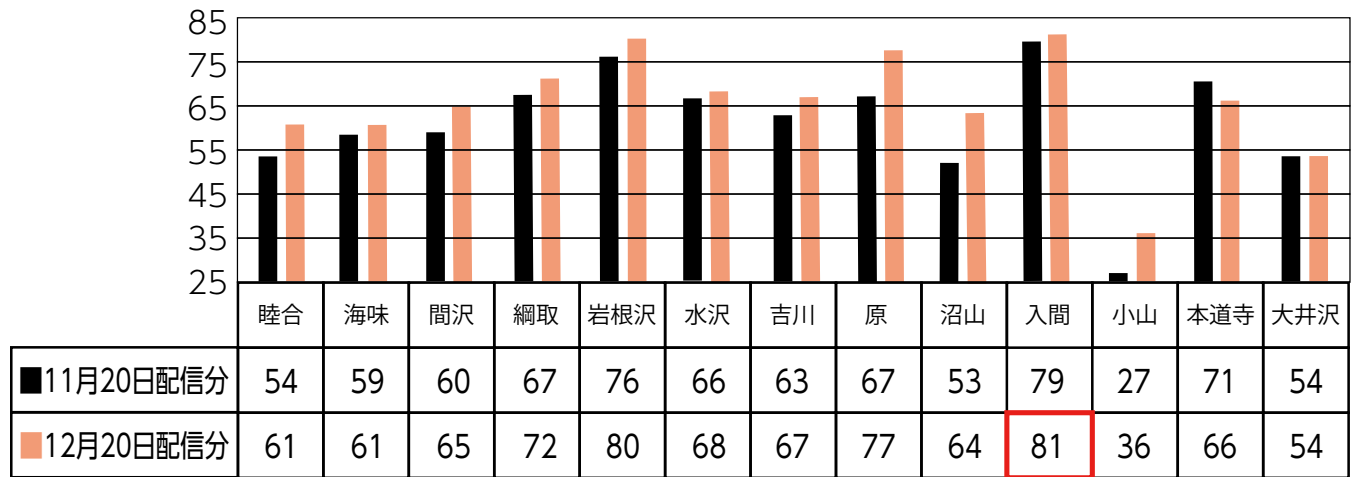
▲頑張ろう三唱で気合いを入れました

3年連続開催！
東武トップツアーズ内定者研修

つながるくんの「確認」押しただき、ありがとうございます！

昨年12月より町民の皆さまに「確認」ボタンを押していただくように案内していました。皆さまのおかげで、平均開封率が11月20日60%から12月20日65%へ5%上がりました。給食費無料化やミニデイ活動などの資金獲得のため、今年度末の開封率の目標75%を目指してこれからも「確認」ボタンを押していただくようご協力ください。

つながるくん開封率



開封率1位は入間地区(81%)でした。ありがとうございます。



菅野大志の

「いどばた会議」vol.31

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

今年も、「月山志津温泉 雪旅籠の灯り」が開幕しました！あるもの・雪をいかしつつ、昔の旅籠の様子を再現！国連ベストツーリズムビレッジ認定に際しては、大きな加点要素となったようです。

主催する実行委員会の皆さま、志津温泉の皆さま、制作の中心的な役割を担う上野明さん（綱取）、月山朝日観光協会の皆さま、ありがとうございました。

町民だけでなく、おたすけ隊のほか、連携先の東武トップツアーズの内定者30名以上がボランティアに携わっていただき、多くの人を巻き込んで制作できたことを嬉しく思います。

年々、きめ細やかなデザインになっております！ぜひご覧ください！
2月24日（月・祝）まで開催！今年は、車で弓張平まで行けます。



▲「雪旅籠の灯り」の花火最高！

1. ごちゃまぜ交流！地域も職員も町民の皆さまへの浸透を感じます！

寛容な地域・将来の希望をもつ地域は、人口が増える！だからこそ、人々の交流を通じて、若者・女性への生き方・障害者への優しさを育み、楽しい地域・ご機嫌な状態をつくる！

それが少しずつ浸透してきたことを感じます。

（1）堀井さんのごちゃまぜ交流会

町が主催した、元アナウンサー堀井美香さんの朗読会&交流会では、職員が率先して町民の皆さんを巻き込んでくれました。

三味線を演奏いただいた山口耕一さん（上間沢）、餅つきでご協力いただいた上間沢サロン男の料理の皆さま。朗読会でご出演を依頼した「どんびんさんすけの会」奥山妙子さん（海味）、「ともだちや」の土田健さん（大井沢）、「サークルぴーつく」の伊藤ゆりさん（吉川）、大泉真奈さん・真帆さん（入間）。

（2）各地でのミニデイでも町内交流が進化しています！

これまで、吉川の歴史文化資料館・かわどい亭、大井沢の自然と匠館でミニデイを多く開催していただいています！さらに嬉しいことに！！なんと、大井沢のミニデイでは「いきいきサロン さらぬま」さん➡水沢温泉館➡志津温泉の雪旅籠の灯りというルートを企画いただきました！

また、さらぬまさんでは、若い人も出入りしているとか、本当に嬉しい！平和！

（3）雪上バレー大会・地区の対話会でもごちゃまぜ！

2月8日に開催された、雪上バレーボール大会もごちゃまぜにより国際大会に昇華！台湾師範大学も巻き込んで参加！巻き込んだ方は天才です。

さらに、1月22日に開催された「大井沢新春地域づくり懇談会」も秀逸。大井沢出身者、支援者も肩書を外しての心理的安全な対話！



▲山口さん（左）と堀井さん（右）
息のあった朗読を披露



▲大井沢ミニデイの町内行脚

▲「いきいきサロンさらぬま」さん



▲大井沢新春地域づくり懇談会

今月の大ニュース！

『月山志津温泉「雪旅籠の灯り」開幕！
20回目の開催！おめでとうございます！』

ご登録お願いします！



▲町公式LINE



▲オープンチャット

2. 交付金獲得を学びに、多くの方々が来町されています！

石破政権の目玉、新型地方創生交付金2倍の追い風を確実にとらえようと、内藤副町長を中心に職員とともに頑張りました。申請期間は1か月と短期決戦！申請するには、地域課題の解決につながる、効果的な事業が対象！ということは、日頃から対話をして課題を深く抽出していたかがポイント。この2倍セールの追い風をつかもうと、西川町は3年総額50億円を申請することができました！対話会に出席いただいた皆さま、ありがとうございました！

今年に入ってから、青森県板柳町、宮城県大崎市・気仙沼市・大和町・涌谷町の議会や、京都府笠置町、神戸市・静岡県・那覇市の職員の皆さんが視察にお越しいただいています！中でも印象的だったのはこちら！

●私より若い、多賀城市長・深谷市長がお越しになり、国からの交付金を獲得して財源確保への取組を高く評価いただきました。3月には多賀城市職員への講演を承りました。

●宮崎県高原町職員は、2泊3日で新型地方創生交付金の申請書を書き上げる合宿を組んでもらいました！高原町さんが資金獲得すれば、アドバイザー付交付金合宿を全国の自治体に向けた観光商品として造成し、100万円として売り出していきたいと思います！

●宮城第一信金から、紙の少ない役場として観光地としてもらいました。ミニデイの訪問先にもしてもらえるように頑張ります！

●さとう宗幸さんが司会の宮城テレビの番組でも、おもしろい役場として紹介されました！



▲多賀城市長



▲合宿の様子は山形放送さんも取材に



▲「OH!BANDS」で放送されました



▲宮城第一信金 菅原理事長、ありがとうございました！

3. 2月5日、豪雪対策連絡本部を設置！除雪オペレーターの皆さまに感謝！

2月5日、今季最大寒波の到来に伴い、町は豪雪対策連絡本部を設置し、各課の対応と県に適切な県道除雪の要請、消防・警察など関係機関との連携を強化しました。

また、情報発信を従来の防災に加え、新たににつながるくん配信や町のホームページで詳細を随時提供しております。さらに、電話の転送設定を行うなど、これまで電話対応のために出勤するところを出勤しなくて済むような対応も行いました。

近年、雪の降り方がやや変わっています。これまでは、深夜2時の降雪状況で除雪を判断してまいりました。しかし、2時過ぎから降り始めることもあり、除雪が遅れてしまうこともありました。除雪作業員の労働環境改善のため、深夜2時、早朝5時など定期的に出勤するタイミングを決めており、遅れる場合もあります。町民の生活を守るため除雪いただいている皆さまに感謝するとともに、町民の皆さまにはご理解のほど、よろしくお願いします。

地域とともに歩む西川町立病院

経営強化プランの改訂に向けた対話を実施

1月9日、病院経営強化に基づく「病院改革評価委員会」を開催しました。この委員会はプランの実効性を高めるための点検、評価を行う組織で、今回は、会議のあり方や現行のプランの内容、プランの改定などに対するさまざまなご意見をいただきました。

- 病院の赤字の原因追求**
- Q** 具体的な赤字の原因を提示し、解決できるところを解決する協議を行う前向きな会議にしてみたい。
- Q** 数字（指標や実績）が提示されたのは良いこと。昨年度は策定委員会や対話会で、病院継続のため3億円を稼ぐ必要があることをみんなで共有している。
- A** 赤字の原因が何であるかをきちんと追究することをプランにも掲載しなければならぬと考えています。
- 対話が不十分**
- Q** 会議当日に資料を配布されても専門性の高い内容で、合意形成できない。
- Q** プラン改訂の理由である『現プランが難解で実装できなかった』という点は、事務局がきちんと理解して、現場と共有すべきであり、事務局と現場との対話不足がある。
- A** 改革評価委員会は必ず年に2回開催することとし、それに伴う事前の対話も実施します。また、院内でももっと積極的に対話するよう、事務職員が現場に足を運んで対応します。
- 診療報酬の加算の状況**
- Q** 診療報酬の請求にあたって医療DX推進体制整備加算は算定しているか。
- A** 来年度の電子カルテの更新に合わせて算定する予定です。小さな加算を積み重ねて医療収益をきちんと確保することをプランにも反映させます。



▲町立病院改革評価委員会の様子

- 診療所化・施設の建替え**
- Q** 令和9年度の黒字化を目指し、達成できないようなら診療所化を検討することもあるとしているのに対し、令和8年度に建て替えを検討することもあり、整合性が取れない。
- A** 診療所化や施設建替えの是非は、今後、慎重に検討していきます。
- 看護師の勤務体制**
- Q** 3交代制から2交代制への勤務体制の見直しに関する現場での対話の状況は。
- A** 検討の前段として院内で看護師を対象にアンケート調査を実施しました。今後も検討していく予定です。
- 具体的な取組みの明記**
- Q** プランにもう少し利用者目線や福祉目線の取り組みを入れてもいいのでは。
- A** 病院利用者拡大のための大切な目線ですので、具体的な内容を追記します。



▲予防接種を行う勝浦先生

研修医の勝浦理人先生からメッセージをいただきました

この度11月11日から12月6日までの4週間に渡り、地域研修をさせていただきありがとうございました。

西川では、健康診断や訪問診療、外来などをさせていただきましたが、特に健康診断における西川町の皆さまの健康意識が高く大変驚きました。病気の予防・早期発見は皆さまのご協力が不可欠ですが、やはり信頼のない医師にかかるにはどうも腰が重くなってしまうものと思います。医療者として皆様の期待に応え、健康をお守りするために、改めて医学知識や経験、コミュニケーションが重要であると実感いたしました。

あつという間の4週間でしたが、この経験を糧にしてこれからも精進して参りたいと思います。温かく迎えてくださった西川町の皆さまはじめ、病院のスタッフ、ご指導いただいた先生方に深く感謝申し上げます。西川町の山菜そば大変美味しかったです、また食べたいです。

～おめでとうございます～ Congratulations!

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。
※敬称略



▲前列左から後藤華愛さん、古澤穂乃花さん
後列左から山崎陽生さん、工藤煌大さん、秋場琉海さん

山形県代表に選出！
全国都道府県対抗
中学バレーボール大会

西川中学校男子バレーボール部の山崎陽生さん（3年）・工藤煌大さん（3年）・秋場琉海さん（3年）と女子バレーボール部の古澤穂乃花さん（3年）・後藤華愛さん（3年）が、山形県代表メンバーに選出され、12月に大阪市で開催されたJOCジュニアオリンピックカップ第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に出場し、素晴らしいプレーを披露しました。

山形県チームは男女とも予選リーグを突破し、男子はベスト16、女子はベスト32の活躍をみせました。



いきいき健康人 西川で元気に輝く皆さんを紹介します

菊地 みえ子さん

菊地みえ子さんは、昔から歌と踊りが好きで、現在も「出羽三山音頭を楽しく踊る会」（踊り）や「輝秀会」（民謡）、「いきいきサークル（歌と踊り）」に所属し、町の文化祭や発表会などで披露しています。一緒に続けている会の皆さんは、みんないきいきしていて励みになっているそうです。

また、自宅でそろばん教室を開き、小学1年生～6年生16名に教えています。

菊地さんは、「楽しいのは歌と踊りだけで、楽しみなのは小学生と触れ合うこと。教室は曜日によって通う子が違うので、『今日はあの子だな、じゃあこれやろうかな』と考えながら待っている。その子にあった指導や内容を考えるのは大変なこともあるが、楽しい」と話します。

今後も現在行っている活動を継続していけるように頑張っていきたいと話しました。



▲菊地みえ子さん・海味



■3月11日は「県民防災デー（防災点検の日）」。災害時の備えはできていますか？

山形県では、3月11日を「県民防災デー（防災点検の日）」と定めています。改めて防災について考え、日頃の備えが万全にできているか確認してみましょう。今回は避難時の緊急持ち出しバッグについて紹介します。

〈緊急持ち出しバッグの中身〉

重さの目安：男性15kg 女性10kg 妊婦さん5kg



飲料水・食品

- ☐ 水(500mlボトル1人2本程度)
- ☐ 食品(レトルト食品、乾パン、缶詰等)
- ☐ 嗜好品(チョコ、飴、ビスケット等)
- ※最低1日分は用意!



衣類

- ☐ 長袖・長ズボン
- ☐ ジャンパー、雨具
- ☐ 下着



生活用品

- ☐ 紙皿・紙コップ・箸・スプーン。
- ☐ ラップ・ビニール袋。
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ トイレットペーパー

防災用品

- ☐ 防災用ヘルメット・ずきん
- ☐ 軍手 ☐ 懐中電灯 ☐ カイロ
- ☐ 防寒シートや毛布
- ☐ 携帯ラジオ・乾電池

医療品・衛生用品

- ☐ 常備薬、持病薬 ☐ マスク
- ☐ 消毒ガーゼ、包帯
- ☐ はさみ・ピンセット
- ☐ 消毒薬 ☐ 絆創膏 ☐ 体温計

貴重品

- ☐ 通帳・印鑑 ☐ 現金
- ☐ 免許証 ☐ 母子手帳
- ☐ マイナンバーカード
- ※避難時に手早く用意

上記の他にも、小さいお子さんのいるご家庭では、紙おむつ、おしりふき、ミルク、哺乳瓶、離乳食等も必要になります。いざという時に備え、あらかじめ準備しておきましょう！

元気 歯ッラッ 西川っ子！



これまでの乳幼児健診及び保育園歯科健診で、むし歯0本だった年長児の皆さんをご紹介します。

むし歯ゼロ 年長児



したら ゆうま
設楽悠馬さん



ごとう あき
後藤彩季さん



かんのはるひと
菅野遥人さん



おがわ かなで
小川 奏さん



さとう すずは
佐藤涼葉さん



たかはし
高橋はなさん



あべ やまと
阿部大和さん



いとう ゆうま
伊藤悠真さん



つちだ みなみ
土田湊心さん



すずきりゆうしん
鈴木琉心さん



まつだ さよ
松田紗夜さん



あらき はやと
荒木 隼さん



たかはしこうせい
高橋煌生さん



地域おこし協力隊通信

熱波師として西川町を盛り上げます

安達 拓海

こんにちはー地域おこし協力隊 兼熱波師として活動している安達拓海です。今回は僕の活動について紹介させていただきます。

僕は熱波師として、水沢温泉館で毎週日・月・水・金曜日にサウナ利用のお客様に向けて熱波サービスを行っています。最近、熱波サービスが定着しており、隣県はもちろん関東や関西からも西川町のサウナを目的でのお客様が来てくれています。

そして、水沢温泉館での勤務がお休みの時は、県外の温浴施設に呼んでいただき、出張熱波サービスを行っています。その際には、西川町を強くPRしながら頑張っています！

また、1月20日に神奈川県で「熱波甲子園チャンピオンカーニバル」という熱波師の大会があり、山形県西川町として参加し、全国3位を獲得することができました！これも日々僕を育ててくれた町民の皆さんのおかげです。ありがとうございます。今後は優勝して、さらに西川町をPRできるような頑張っていきますので変わらず応援していただければと思います。



▲山形県西川町が熱波師の大会で全国3位に！



▲全国の舞台でも西川町をPR

伊藤真先生の

元気アップ！ 運動教室

PART318



今月のテーマ：

「何事もバランスが大事」

体幹のトレーニングで体の安定性を高めましょう！
(お腹・お腹の脇・太ももの内側などを意識しながら、5秒キープ×5回)



- ①姿勢を真っ直ぐにして、横に寝る
(下の腕を枕の代わりにする)
- ②両脚を一緒に持ち上げる
(閉じた状態で上げ、離れないようにする)



レベルアップ(バランス・安定性の強化)

- ①下の腕を伸ばし、手の平を天井向きにする
- ②下の腕と耳を付けたまま、肩まで持ち上げる
(安定できるところでキープする)

- 注意点●
- ①体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。
 - ②可動域制限がある方は、無理のない範囲で行ってください。
 - ③呼吸は止めずに(踏ん張らずに)、行いましょう。

バランス能力は、立つ・歩くなどの基本的な生活機能に重要な能力で、転倒予防にも関わります。視覚(目)や体の感覚(筋肉・腱・関節、足裏の感覚)、三半器官(耳)の情報などから脳が総合的に処理して、筋肉が指令を実行する(動く)ことで姿勢を保ち、バランスを取ります。

筋力が低下するとバランス能力も低下します。筋力トレーニングに加えてバランストレーニングを併せることで、より効果が期待できると考えられています。さまざまなトレーニング要素を取り入れた運動で、動ける体をつくりましょう。

西川町では、毎週水曜日の14時に町民体育館で「音楽運動教室(奇数週)」と「ゆる音楽運動教室(偶数週)」を開催しています。ソフトジムボールやストレッチポール®などのツールも使いながら、さまざまな運動を行います。健康づくり・体づくりの機会として、教室をご活用ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

参考・引用資料
※厚生労働省生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット
<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/exercise/s-04-009.html>
バランス運動の効果と実際 e-ヘルスネット(厚生労働省)

保育目標

- 雪のようにきらきら輝く子 ●緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子



▲自分たちで作った折り紙、上手に飾るぞー



▲団子はここにさそう



▲結ぶの難しいけどがんばるよ



▲「おにはそと〜ふくわうち〜」手作り豆で大健闘!



▲ぽっかぽかにきた赤ちゃん達もがんばりました



▲「まいったまいった〜」やったぞ鬼退治

「だんごさし」

保育園コーナー

1月10日、そら組さんが小正月の伝統行事「だんごさし」を行いました。西川月山ロータリークラブの皆さんと一緒に、玄関前に設置したミズキの木に手作りした折り紙の飾りやだんご、ふなせんべいなどの縁起物をにぎやかに飾り付けました。

図書館さ、いぐべ〜。

お問い合わせ
西川小学校図書館 ☎ 85-0077

文学賞受賞展2025

毎年恒例となりました、文学賞受賞展。今年も本屋大賞ノミネート作品と共に展示貸出しています。

「本屋大賞」は、新刊書の書店（オンライン書店も含みます）で働く書店員の投票で決定するものです。

今年は何の本が大賞になるのかぜひ予想してみてください。読みたい本が貸出中の時はぜひご予約を。利用者カードと暗証番号でスマホから予約ができますのでご利用ください。

お問い合わせ等は図書館までお願いします。



「古い町報」ありがとうございました!

昭和40年代、昭和56年9月号の町報をお持ちの方よりご連絡いただきました。睦合の設楽達さん、吉川の伊藤トヨ子さん、吉川の會田ちかさんなどの方よりご連絡・ご寄贈いただきました。ありがとうございました。

■ぴーつくおはなし会

日時：2月22日（土）
10時30分〜

- ・ゴリくん、なにをつくる？
 - ・いろいろバス
- ほか工作もあります

放課後子ども教室にしかわ

活動紹介

子ども教室では、寒さに負けず、元気いっぱい子どもたちが日々の活動に一生懸命取り組んでいます。

ちょこっとイングリッシュやけん玉教室では思いっきり身体を動かし、「暑い!」と上着を脱ぐ子も。司書の皆さんによる絵本の読み聞かせでは、1年生から6年生までがお話の内容をしっかりと聞き、静かに落ち着いて集中していたり、面白い場面では笑ったりしながら絵本を楽しんでいます。



放課後子ども教室にご協力いただける方、子どもたちと一緒に活動したい持ち込み企画がある方など大募集中です!

【お問い合わせ】
まなぶ課 ☎ 0237-74-2114

皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。つなぐ課町民つなぐ係
☎ 0237-74-2112 ✉ tsunagu@town.nishikawa.yamagata.jp



▲メール送信

西川の魅力を発信！ モンテディオ山形 西川町アンバサダー決定

2025シーズン、西川町のPR・広報活動を行っていただくアンバサダーに、「25番 國分伸太郎選手」が決まりました。今年も、モンテディオ山形と連携した町の魅力発信と町民の皆さんに楽しんでいただける事業を展開していきます！

◆西川町「市町村応援デー」
・4月19日(土) VS 愛媛FC
・10月26日(日) VS 大宮アルディージャ



▲國分伸太郎選手

山に眠る資源の有効活用を目指して！ 木エวิร์クショップを開催

西川町山村活性化地域協議会では農林水産省の補助金を使って、西川町の豊かな山の恵みを活用した商品開発に取り組みんでいます。この度、町産材である西山杉を使ったDIY椅子キットが完成し、2月1日に組み立て体験モニターイベントをトラスで開催しました。

イベントには町内外から15人が参加し、キットの開発を行った月山やまぢから研究会メンバーの指導を受けながらキットの組み立てに挑戦。参加者の皆さんは



▲教わりながら椅子を完成させる参加者

木が持つ特性などを教わりながら西山杉に触れあい、笑顔で椅子づくりを楽しんでいました。

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

小正月の伝統行事「だんごさし」 大井沢自然と匠館で開催

1月11日、大井沢自然と匠館で小正月の伝統行事「だんごさし」体験が行われ、17名が参加しました。

地元のお母さん達が講師となり団子作りから挑戦。

白の他に、赤・黄・緑に色付けされた粉を手でまるめてからゆで上げ、ミズキの木に刺しました。また、縁起物の大黒や鯛などのふなせんべいでにぎやかに飾り付け、無病息災、家内安全を願いました。



▲手作りの団子をミズキの木に刺す

寒さに負けず、身体と頭脳の運動を！ 新春町長杯ゲートボール大会を開催

1月23・24日、睦合体育館で第12回新春町長杯ゲートボール大会が開催されました。今年は、町内から4チームが出場するなか、初めて役場チームが出場し30歳代から80歳代までの方が一緒にゲートボールを楽しみました。

―大会成績―
優勝…小山チーム
準優勝…綱取・岩根沢チーム
第3位…水沢・入間チーム
第3位…役場チーム



▲優勝した小山チームの皆さん

新たな集いの場 「間沢ハウス」プレオープン

1月26日、間沢地区の空き家を利用したコミュニティスペース「間沢ハウス」のプレオープンが行われました。この「間沢ハウス」は、地域内外の人が気軽に集える場所をつくること、町の地域おこし協力隊の橋本昂将さんが中心となって空き家を改修しました。空き家は木造2階建ての民家で、1階の居間部分を共有場所として整備。気軽に集まってゲームや読書を楽しめる空間として提供していきます。

本オープンは3月を予定。利用料金は無料で、オープンの告知などはインスタグラムで行います。



▲ボードゲームを楽しむ皆さん



▲間沢ハウスインスタグラム

昭和57年～昭和59年製の トヨミ石油ファンヒーターを探しています

上記期間に製造された製品には、現在、取り付けが義務化されている安全装置が装着されておりません。誤った使用方法により、事故が起こる可能性があるため、1986年(昭和61年)より自主交換を行っております。

LCR-3タイプ



LS系タイプ



対象機種

LCR-3・LCR-3-1
LS-3・LS-3-1・LS-6

ご連絡先

株式会社 トヨミ
フリーコール
0120-104-154

お客様よりお知らせ頂きました個人情報、商品の交換目的以外には使用いたしません

※現在の石油ファンヒーターはPSCで定められた安全装置が全機種についております。

堀井美香さん朗読会&西川ごちゃまぜ交流会



2月2日、交流センターあいべで「堀井美香さん朗読会&西川ごちゃまぜ交流会2025」が開催され、町内外から200名を超える方が来場されました。

朗読会では、元TBSアナウンサーの堀井美香さんが『雪女』『耳なし芳一』『たびする!!えほんねこ』の3つを朗読。『雪女』と『耳なし芳一』では、津軽三味線奏者・山口耕一さんの演奏にあわせて朗読し、臨場感がより一層増し、会場全体が物語に引き込まれていました。『たびする!!えほんねこ』では、西川小の大泉真奈さん（4年）・真帆さん（2年）姉妹と一緒に朗読。真奈さんは「本を読むことが楽しいと思いがたのでよかった」、真帆さんは「最初はドキドキしたけど、だんだん慣れて声も大きく出せたのでよかった」と話しました。

また、町内で読み語り活動を行っている土田健さんと伊藤ゆりさんが絵本を、奥山妙子さんが紙芝居を読み、会場を盛り上げていました。

朗読会後は、町内外から参加した方との交流会を開催し、餅つきや豆まきを行いながら交流を深め、「楽しい西川」を多くのの方々に感じていただきました。

今月の表紙

2月3日、にしかわ保育園で豆まきが行われました。みんな協力して、鬼退治ができました。（17頁に関連記事）



編集雑記

2月といえば節分ですね。今年の節分は2月2日で驚きました。地球の公転周期と暦のずれで日付が変動するそうです。なんにせよ、私は今年も願い事をしながら恵方巻を無言で食べました。1月の初詣で神様をお願いしたばかりですが…。皆さまも良い一年でありますように。

（伊藤）



LINE
@nishikawa_town



X
@nishikawatown



Instagram



西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。



2/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,218人 女 2,310人 計 4,528人 世帯数 1,790 ()は前月比
(-4) (-2) (-6) (-2)